

## 最近のまちなか鳳雛塾

2021年度から始まった能登高留学。高校生活の2年次の1年間、地元の高校を離れて能登高校で学生生活を送ります。そんな能登高留学4期生の近況をお伝えします。

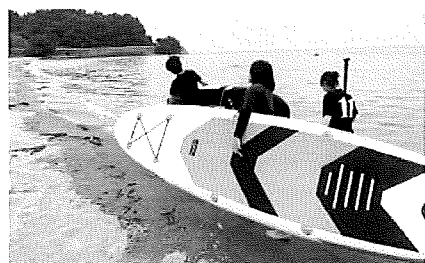
6/21㊟の放課後、能登高留学生3名はあばれ祭のための太鼓練習をしました。太鼓の指導をしていただいたのは新村新友会のみなさまです。最初は慣れない様子だった留学生たちも、段々上達するにつれて楽しんでる様子でした。1週間後の6/28㊟は太鼓の練習に続き、子どもキリコの体験もしました。子どもキリコを担いだり、上に乗って太鼓を叩きました。子どもキリコを少し担いだだけでも肩が痛くなったという留学生、本番のスケールの大きさに期待を膨らませながら、あばれ祭当日を待ち望んでいました。祭当日は新村本町と上岩屋町の町内のキリコを担ぎ、能登のキリコ祭りを堪能しました。体験にご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました！

また、6/22㊟の午後にはSUPを行いました。SUP(サップ)とは「Stand Up Paddleboard(スタンドアップパドルボード)」の略称で、サーフボードより一回り大きいボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進むアクティビティです。元能登高校魅力化プロジェクトスタッフの高橋さんにアテンドいただきました。東京出身の高橋さんも、能登に移住してからマリンアクティビティの魅力に目覚めたといいます。東京都と山口県からやってきた能登高留学生3名も地元とは雰囲気異なる海沿いの町での暮らしを満喫していました。

今後も能登高留学4期生が能登での生活を満喫できるよう、ぜひご協力をお願いいたします



▲あばれ祭の太鼓練習をする能登高留学生



▲SUPに挑戦する能登高留学生



▲SUPに挑戦する能登高留学生

塾時間 平日 16:00~22:00

利用料：3,000円/月

※別途教材費がかかる場合があります。  
※その他、能登町公営利用料徴収規則に基づき、各種減免措置があります。詳しくはお問合せください。  
※現在中学生クラスは定員に達しています。定員枠が空き次第ご案内いたしますので、入塾希望者はご連絡ください。なお、見学は可能です。

能登町営まちなか鳳雛塾

〒927-0433 石川県鳳珠郡能登町宇出津タ-80

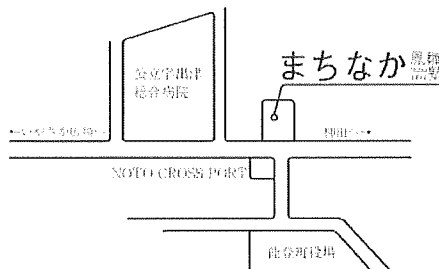
☎ 0768-84-5282 (受付時間 平日 16:00~21:00)



machinakahousu



machinakahousu



能登高校魅力化プロジェクト・まちなか鳳雛塾

ほうすう



## 卒塾生による関西圏の大学紹介

昨年度の卒塾生で関西学院大学に進学したNさんによる、関西圏の大学紹介イベントが開かれました。現在兵庫県での大学生活を送るNさん。関西の大学概要や、能登と関西の生活の違い、キャンパスライフ、大学の授業の様子など、貴重な実体験を話していただきました。(EスペースのWebexBoardを利用して関西と能登をつなぎ、オンラインで開催しました。)

参加したのは大学進学を志望する高1・2年生です。関西圏の大学を考えている/いないに関わらず、大学生活の話に興味津々で参加している様子でした。以下に参加した生徒からの感想を一部掲載します。

Aさん「私立大学のことはあまり考えていなかったが、写真で紹介されたキャンパスが綺麗で、私大進学にも魅力を感じた。第一志望以外の私立大学を考えるいい機会になった」

Bさん「自分はあまり志望校が定まっておらず、県外の大学をあまり調べられていなかったが、関西の大学も身近に感じられてよかった」

Cさん「大学生活についてのイメージがつきやすくなった。高校の間にどんな勉強をしておけばよいか参考になる部分がたくさんあった」

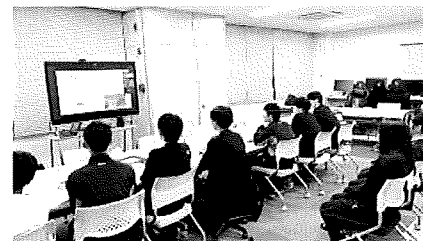
能登高校を卒業した先輩ならではの話は、参考にしやすいのかもしれませんが、能登高校時代の勉強ルーティンや、キャンパスライフの話が特に参加者の興味を引いていました。石川県内や北陸3県の大学だけを進学先として調べる能登生がまだ多いですが、自分の興味関心やどんなキャンパスライフを送りたいのかを広い視野を持ってよく考えることが大切です。このような機会が、進路選択の一助になることを願います。まちなか鳳雛塾では、学習指導だけでなく幅広い進路実現のサポートを行っています。

## 中学生向け英会話クラス

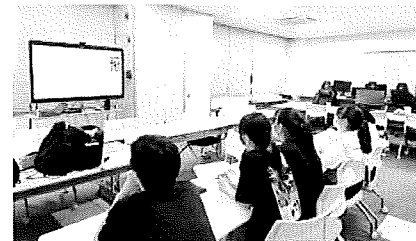
6/7㊟第1回中学生向け英会話クラスが開かれました。週に1回英会話の基礎を学ぶクラスで、松村レオナルド大地さんがオンライン授業を務めます。松村さんは今年退任されたまちなか鳳雛塾の元講師で、退任後もオンラインでいくつかの授業を担当していただいています。

参加した中学生は、声を出して喋りながら英語を学ぶ授業を楽しんでいました。英語頭文字クイズや、簡単なフレーズ練習など、初心者にも取り組みやすい内容になっていて和気あいあいとした雰囲気でした。

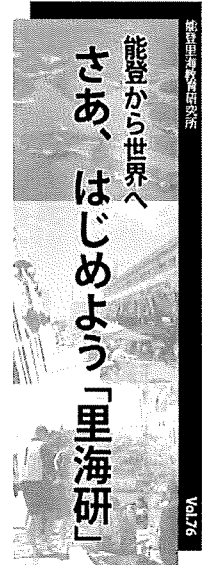
英語を学ぶ際はなにかと読み書きの勉強に偏りがちですが、リラックスして目の前の人との会話を楽しむことも大切です。試験勉強に肩入れし過ぎると、英語学習が仕事のように思えてくることもあります。そんなときこそ英語のコミュニケーションの部分を思い出しましょう



▲大学紹介の様子



▲中学生向け英会話クラスの様子



能登里海教育研究所

Vol.16

## 困難を超えて、パワーアップ！ 能登町の海洋教育

能登町では2024年度も引き続き町教育委員会の方針のもと、各校の先生方が積極的に海洋教育に取り組まれています。震災の影響はありますが、子どもたちのより良い学びのためにわれわれも全力で支援しています。今回は、その最新情報を皆様にお伝えします。

### ■今年もスタート！ 海藻ふりかけプロジェクト

能登町立松波中3年生が、担任の田中慎之介先生の指導のもとで、今年もオリジナル海藻ふりかけ開発をスタートさせました。5月21日には最初の授業があり、浦田研究員から海藻の分類や生態、能登での利用についての解説がありました。続いてフードコーディネーターの瀬川しのぶさんから、商品開発の進め方について説明いただきました。

そして能丸研究員の指導で「ふるさと能登」の魅力のつまった松波中オリジナル



ふりかけ試作中の松波中3年生

ルふりかけのコンセプトを皆で考えました。生徒たちからは「能登で生産しているものをより深く知ってほしい」「幅広い年齢の人に受け入れられる味にしたい」という意見のほか、「あたたかいごはんにもひやごはんにも合うものにできたらいいな」「食べたら元気が出るふりかけを作りたい」といった意見が出ました。

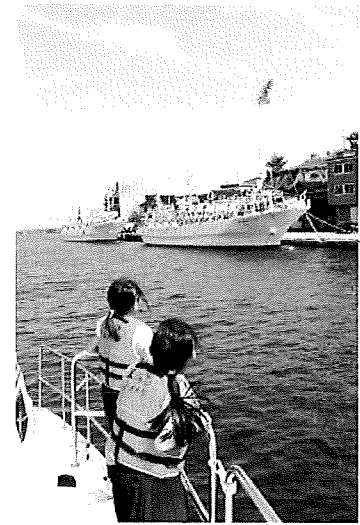
6月11日には、さまざまな素材から生徒の力だけでいくつも試作品を作り、皆で試食しながらそれぞれのコンセプトと味わいを確認しました。毎年どんなふりかけになるか全く予想できない完全オリジナルふりかけ。震災で材料集めが大変ですが、今年の作品にも期待です。

### ■乗船体験や磯の観察も

6月7日に小木小3年生が担任の田中結香先生とともに金沢大学臨海実験施設の実習船おおさき乗船体験を行いました。

子どもたちは金沢大学の小木曾正造さんと鷹巣真琳さんから安全指導を受けた後、小木港から乗船して小木港、九十九湾を回りました。

小木港にはちょうど出漁前の中型イカ釣り漁船が並んでいて、作業中の船員さんが手を振ってくれました。また港泊いの解体作業中の被災家屋からも、解体作業員の皆さんが手を振ってくれました。子どもたちは、普段と違う視点で自分達の暮らす町の姿を見つめ直し、学びを深めていました。



小木港の船上からの眺め

### ■町野川の魚を深く知る セミナー開催

6月19日には、柳田小で先生方の勉強会である里海教育セミナー「町野川の淡水魚」を開催しました。講師であるのと海洋ふれあいセンターの荒川徹亮さんに、町野川の魚の特徴についてお話いただきました。外来魚の割合が少ないことや海と行き来する魚種が多いこと、またヤツメウナギにも何種類もいることや、タナゴとニ枚貝の関係、また最近発見されたイトヨの生息など、奥能登で最も魚種の多様性が高い町野川にまつわる話題を提供いただきました。先生方からは、生物の種の定義や、海と川の川の進化的な起源についての質問、また「ウグイを食べてみたい」といったたくさんの方の感想をいただき、これからの新たな教育活動への可能性を感じるセミナーとなりました。

(能登里海教育研究所・浦田 慎)



海岸での生物観察



能登里海教育研究所 74-1017

# 2024 ござれ祭り

ござれ祭りが今年も開催されます。

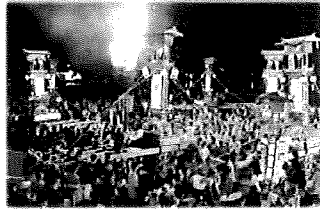
日程：8月11日⑩ 15:30～21:00 (予定)

会場：やなぎだ植物公園

主催：ござれ祭り実行委員会

☎ 0768-76-1680 (やなぎだ植物公園)

# 令和6年能登半島地震で被災した地域の祭りの再開を支援します！



再開を支援します！

たとえば…  
 ・祭りの用具の修理費  
 ・当日の消耗品費、資機材レンタル料などに要する経費を支援します

県（いしかわ県民文化振興基金）では、能登のふるさと文化の継承や、地域コミュニティの再建につなげるため、能登半島地震で被災した地域の祭りの再開を支援します。

- 対象団体** 次のいずれかに該当する団体  
 ①地縁団体（自治会、町内会または区等）  
 ②複数の地縁団体の区域を束ねる祭りの保存会、実行委員会等
- 対象の祭り** 七尾市以北の6市町を中心とする被災地において、地震による用具の破損や、担い手不足などの影響が及んでいる祭り（長年地域で保存・継承されているものを市町が認定）
- 対象経費**  
 ・祭りの開催に向けた準備経費  
 祭りの用具等の修理・新調（経年劣化によるものを除く）、開催に向けた検校会、SNSでの情報発信やポスター等の広報費など  
 ・祭りの開催経費  
 開催に係る各種消耗品購入、外部協力者（警備・清掃など）謝礼、資機材借上げなど  
 ※支出したことを証明する領収書や請求書等の書類が必要
- 助成額等** 3年間で最大150万円  
 ※各地域からの要望状況によっては、1つの祭りに支援が偏らないよう多くの地区から構成されるような祭りについては別途上限額を定める場合があります。

石川県文化振興課 ☎ 076-225-1371 能登町教育委員会事務局 ☎ 0768-62-8537

## 資料広告

お申込み・お問い合わせは  
 TEL 62-4688 FAX 62-4689

地域の事業所、ご家庭の皆様へ  
 シルバー人材センターにおまかせください！

会員募集中！！

- ご家庭で…**
- ◆草むしり・草刈
  - ◆庭木の剪定
  - ◆屋内外の清掃
  - ◆子育て支援
  - ◆留守番
  - ◆宛名書き
  - ◆除雪
  - ◆簡単な大作業
  - ◆不用品処分
  - ◆入院中の洗濯
  - ◆農作業
  - ◆ペンキ塗り
  - ◆曇払い
  - ◆墓そうじ
  - ◆障子・網戸の張替え
  - ◆引っ越しのお手伝い
- 事業所で…**
- ◆施設内外清掃
  - ◆店舗内清掃
  - ◆施設の受付
  - ◆チラシ配布
  - ◆樹木管理
  - ◆各種内職
  - ◆その他…
  - ◆自動車の運転
  - ◆賞状・宛名書き
  - ◆袋詰め・梱包
  - ◆配達手伝い
  - ◆血洗い
  - ◆封入作業
  - ◆倉庫整理
- ◆イベント・催事設営等
- お申込み・お問い合わせはお気軽にお電話ください



### 高砂や

……いつまでもお幸せに

氏名 本籍 住所  
 小橋寛伸 小松市 小松市  
 端千尋 上町 小松市  
 川崎祥二 宇出津 宇出津  
 田辺末来 三重県 宇出津

……すこやかにすくすくと

出生児 両親の名前 住所  
 中谷あり 俊介・美咲 松波

このまど 6/1 ~ 6/30

敬称略。個人情報保護のため希望のあった人のみ掲載しています

### おくやみ

……ご冥福をお祈りします

氏名	年齢	住所
廣橋トミ子	97歳	石井
中田百合子	90歳	七見
山瀬二三	94歳	天坂
直川孝之	59歳	越坂
出家マツイ	93歳	武連
宇波きよ	100歳	時長
安宅正一	71歳	宇出津
門口美子	85歳	山田
宮下良典	80歳	崎山
山崎敏子	92歳	布浦
宮下きせ乃	92歳	合鹿
山野敏夫	95歳	宇出津
谷上直一	94歳	恋路
富賀信子	84歳	上
堂前征一	84歳	真脇
鶴垣君子	75歳	新保
岩住千恵子	83歳	宇出津

### 善意の窓

ご寄付ありがとうございました

社会福祉協議会へ  
 『災害支援金として』  
 企業・団体  
 加茂市社会福祉協議会（新潟県） 3万円  
 認定NPO法人仙台頼聴の会（宮城県） 5万円  
 杏庵 大貫高明（神奈川県） 2万9千888円  
 個人  
 竹中良一（上町） 10万円  
 匿名 1千39円  
 小水テイスリースセンターへ  
 『災害支援金として』  
 企業・団体  
 石川県ディスプレイサービスセンター協議会（金沢市） 50万円  
 能登町へ  
 ハイカー株式会社（群馬県） 除雪機 4台  
 有限会社トーション（長野県） 無停電電源装置 2台  
 株式会社JVCサウンド（神奈川県） ポータブル電源本体 15台 + ソーラーパネル 15台  
 光触媒除菌脱臭機 10台  
 能登こいた保存会 東京・大阪・

### 宮城・埼玉支部

ごいたの普及に努めることへ  
 18万2千91円

AYAKO, s KITCHEN  
 村上大  
 産業又は産業の振興へ6万円  
 公立宇出津総合病院へ  
 企業・団体  
 石川コンピュータ・センター  
 代表取締役社長 山浦 伯之  
 医療情報システム用モニター14台

◎人口・世帯数 7月1日現在（前月比）

人口(人)	14,624	- 47
男	7,006	- 19
女	7,618	- 28
世帯数(戸)	7,000	- 20

### 令和6年 能登半島地震に対する 支援金・物資など

6月1日（6月30日受付分）  
 ※県庁向、敬称略

たくさんのご支援 ありがとうございます

企業・団体  
 庄川観光株式会社  
 大牧福泉観光旅館  
 庄川遊覧船株式会社  
 代表取締役社長 水上 一成（富山県）  
 吉河ライオンズクラブ（茨城県）  
 株式会社アイテックムラモト（金沢市）  
 株式会社コメネ代表 阿知波 直哉（東京都）  
 個人  
 小沢 和男（群馬県）  
 佐久間 春樹（東京都）  
 神谷 一雄（東京都）  
 伊藤 敦之（茨城県）

写真：支援物資の届出を待つ人々